

ひょうご水素利活用サロン事業趣意書

1. 趣旨

20世紀以降、我々人類のエネルギー消費は大きく増加しており、急速な経済成長を遂げるのと引き換えに地球環境に対してさまざまな変化を引き起こしていると言われてい
ます。我が国のエネルギー構造は電力部門、非電力部門ともに化石燃料を中心としており、
資源枯渇、環境負荷の視点に立てば、化石燃料に代わるエネルギー構造の構築は喫緊の重
要な課題です。また、世界に目を向けると、エネルギーに絡む国際紛争が勃発しており、
安定なエネルギー需給構造の構築も重要な課題です。このような状況の中、水素は究極の
クリーンエネルギーと呼ばれ、化石燃料を中心とする現在のエネルギー構造に取って代
わるエネルギー構造の主演となることが期待されています。また水素は、いろいろな物質
から生成することが可能であることに加え、貯蔵、長距離輸送、電気・熱・動力への変換
も容易であることから、エネルギー安全保障と持続可能社会実現のための切り札として、
“水素エネルギー社会”の構築に大きな期待が寄せられています。

このような背景から、兵庫県立大学は2013年12月に「次世代水素触媒共同研究セン
ター」を設置し、2019年4月に、このセンターの機能を更に高度化するため、産学連携・
研究推進機構に「水素エネルギー共同研究センター」を設置しました。現在国内外におい
て、水素関連のさまざまな研究開発が行われており、水素エネルギー社会の実現に向け、
着実な歩みを見せています。その一方でコスト、効率、インフラ整備等、大きな課題がいく
つもあり、その解決に向けては革新的な水素の生成と利用、貯蔵、輸送のための研究開
発と、水素に置き換えるための政策や技術開発がこれからも必要です。兵庫県立大学は将
来の水素エネルギー社会の実現に向け、以下2点の取り組みを行います。

(1) 水素エネルギー関連の新産業創出拠点形成に向けた取り組み：

水素輸入・利用の最先端の実証に成功した神戸地域、全国屈指のものづくり拠点であり、
大型水素タンカー接岸の可能な姫路港をも擁する播磨臨海地域は、次世代の水素関連産
業を創出するポテンシャルの極めて高い地域と言えます。この地に水素の受入、製造、輸
送、利用に関わる要素技術開発、デバイス製造、インフラ整備など、水素社会を支える関
連産業が集積することによって、水素エネルギー関連の新産業を創出する一大拠点へと
変貌を遂げることが期待されます。そのために本学としては「共創の場」を提供し、自治
体、リーディング企業、地域企業の橋渡しや、地域ものづくり企業のシーズ活用、水素ビ
ジネス参入を支援しながら、産官学連携体制で上述の拠点形成を目指します。そして、兵
庫県内に、さらに全国にくまなく「水素」を届ける体制の構築につなげます。また、水素
に関わる人材の育成にもつなげたい考えです。

(2) 世界最高水準の科学技術基盤を活用した産官学連携研究拠点の形成：

上述の、水素関連新産業創出拠点形成に貢献するために、本学のもつ最先端設備や水素

関連基盤技術、評価解析パッケージ等を備えた研究開発プラットフォームを構築して、「水素製造」、ならびに「水素環境評価」に関して文理融合、産官学連携体制で基礎から応用に至る研究を実施する研究拠点の形成を目指します。この研究拠点において、海外水素や国内グリーン水素の過疎地・離島へのエネルギー供給を政策科学的に検討して、「化石燃料」を「水素」におきかえるためのさまざまな社会実装を行うための研究開発を行います。

このような研究開発を中心に据えた取り組みを、特に地域企業とのつながりを強化して実施するために、「ひょうご水素利活用サロン」を設置し、そのサロンを場として産官学のステークホルダーの緊密な連携を構築して、水素エネルギー社会の実現に貢献します。あわせて、上述の研究開発プラットフォームを活用し、まずはアイデアを形にする、あるいは適切な評価手法に則って企業のシーズを再評価する、などの作業を通して、地域企業の水素ビジネスへの参入を促進し、兵庫県の地域産業の活性化と地域経済の健全な発展を目指します。

2. 内容

- (1) ひょうご水素利活用サロンの設置場所は、兵庫県立大学 産学連携・研究推進機構（〒670-0962 姫路市南駅前町 123 じばさんびる 3 階）とします。
- (2) 本サロンは、兵庫県立大学水素エネルギー共同研究センターと会員企業が自由に集う場です。上記趣旨にご賛同頂ける企業（会員）の参加により運営します。異分野から多様な人材が参加して、自由で開かれた場を創ることで、今後の水素利活用に関する意見交換や情報・知識を得ることができます。
- (3) 適宜、例会、講演会、見学会、セミナー等のイベントを実施します。会員はこれらを通して、水素関連事業の将来性、方向性の情報収集や意見交換を行うことができます。また、会員の持つ技術シーズに対し、水素エネルギー共同研究センターと共同研究を行うこと、研究プラットフォームを利用して頂くことが可能です。会費は不要です。ただし、研究プラットフォームを利用するにあたり、機器利用は有料となることが想定されます。
- (4) さらに、自治体や水素リーディング企業との連携強化、国プロ（大型予算）等への共同申請を目指すための取り組みに発展する可能性もあります。

3. 運営

3. 1 運営組織

産学連携・研究推進機構、水素エネルギー共同研究センターが運営します。

3. 2 運営資金

本サロンは企業等からの任意の寄附金などを原資として運営します。

3. 3 活動

本サロンは上記2. 内容に記載した社会課題解決に向けたプロジェクト形成活動を経て、兵庫県立大学と参画企業等との共同開発プロジェクトや事業化に向けた取り組みの実施を目指します。

3. 4 知的財産の取り扱い

兵庫県立大学と参画企業は、本サロン事業の実施において知的財産が創作された場合は、その帰属及び取扱いについて協議して定めるものとします。

4. 寄附の取扱い等

4. 1 規程

寄附金は、「兵庫県公立大学法人寄附金等取扱規程」(別添)に基づき取扱いさせていただきます。ご了解得られた場合は、本規程に基づき、様式第1号(第4条関係)寄附申込書(別添)を提出していただきます。

4. 2 寄附金の使途

- ・サロン例会、講演会、セミナー、見学会等における講師謝金、交通費や部屋の賃貸料
- ・運営スタッフ、事務員人件費
- ・什器備品購入費
- ・スタートアップ、共同開発にむけた検討費用
- ・その他経費(水光熱費)

4. 3 ご寄附の方法

(1) 寄附の手続と流れ

「兵庫県公立大学法人寄附金等取扱規程」に基づき寄附の手続きを行って頂きます。兵庫県公立大学法人理事長は、寄附金等を受領したときは、原則として、寄附者に領収書又は受領書を発行いたします。

(2) 税制上の優遇措置

兵庫県立大学への寄附金は法人税法第37条第3項第2号に規定する指定寄附金(昭和40年大蔵省(現財務省)告示第154号)に該当するため、ご寄附の全額を損金算入することができます。

■お問い合わせ先 兵庫県立大学 産学連携・研究推進機構(水素エネルギー共同研究センター担当)

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる3階

TEL : 079-2834560 FAX : 079-283-4561 E-Mail : sangaku@hq.u-hyogo.ac.jp

2024年3月13日作成